

○計画期間：平成27年4月～平成32年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成27年4月以降、認定基本計画に基づき、「長崎特有の歴史と文化を活かした、魅力と活力のあるまちづくり」をテーマに平成29年度に新たに追加したものを含めて全70の事業を進めている。

本市においては、長崎港のクルーズ船寄港数が平成29年は平成28年の197隻を上回り、過去最多となる267隻が寄港し、主要イベントである長崎ランタンフェスティバルにおいても過去最多の106万人を集客するなど、国内外の観光客が中心市街地を回遊し賑わいを見せている。

そのような中、中心商業地である浜町周辺に位置していた県庁舎が平成30年1月に中心市街地西側の長崎駅周辺に移転し、今後跡地の活用が開始するまでの期間、周辺エリアの賑わいの低下等が懸念される。

一方、旧県庁舎に隣接する出島において認定基本計画の主要事業である出島和蘭商館跡復元事業の復元建造物6棟が平成28年に完成したことに続き、出島表門橋架橋整備事業が平成29年11月に完了し、平成29年度の出島の入場者数が50万人を超え開園以来最高を記録した。また、同時に整備された出島表門橋公園を含め、供用開始以降周辺に新たな人の動線も生まれている。

また、新大工町市街地再開発事業においては平成30年2月に本組合が設立され事業進捗が図られているところであり、現時点で中心市街地活性化へ直接的な影響はないものの完成に大きく前進したことにより地域での期待が高まっているところであり、周辺商店街の歩行者通行量も下げ止まりを見せている。

本市では中心市街地に隣接する大浦天主堂が構成資産になっている「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の平成30年の世界文化遺産登録を目指しているところでもあり、今後も中心市街地の更なる活性化に向けて官民一体となって取り組んでまいりたい。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（中心市街地地域）	平成26年度 （基準日：平成26年12月31日） （計画期間開始前年度）	平成29年度 （基準日：平成29年12月31日） （フォローアップ年度）
人口	28,758	29,176
人口増減数	62	-182
社会増減数	—	—
転入者数	—	—

2. 平成 29 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

計画期間の3年目である平成29年度の取り組みについては、全70事業のうち「出島表門橋架橋整備事業」、「中島川公園整備事業」、「誘導サイン整備事業」、「岩原川周辺環境整備事業」の4事業が新たに完了したほか、59事業が計画通りに進捗または実施予定となっている。

しかしながら、当初の予定から遅れが生じている一部事業については、今後の進捗管理に万全を期す必要がある。

目標指標である「主要観光施設入場者数」については、出島和蘭商館跡がその復元事業や表門橋架橋整備事業の完了により開園以来最高の入場者数を記録するなど、大幅に増加しており、「歩行者通行量」についても、目標値を上回っていることから、計画全体の進捗は順調であると評価できる。

「小売業販売額」については、外国人観光客の誘客や消費拡大を図るまちなか商店街誘客事業の取り組み等、地域活性化への実効性に配慮した事業を着実に進めるべきであると考えます。

また、長崎県庁舎の移転後に生じている影響を注意深く見極め、周辺エリアの賑わいの創出や回遊性向上に寄与する事業に官民が連携を図りながら速やかに着手することが必要である。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
まちなかのにぎわいの創出	一日当たりの歩行者通行量 (人/日)	平日: 133,211 人 休日: 125,438 人 (H26 年度)	平日: 140,100 人 休日: 131,700 人 (H31 年度)	平日: 140,964 人 休日: 133,302 人 (H29 年度)	①	①
商業の活性化	中心市街地における小売業年間商品販売額 (億円/年)	1,537 億円 (H26 推計値)	1,570 億円 (H31)	1,592 億円 (H26 実数値)	①	①
交流人口の拡大	主要観光施設入場者数 (人/年)	857,898 人 (H25 年度)	931,400 人 (H31 年度)	1,138,458 人 (H29 年度)	①	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

① 1日当たりの歩行者通行量（16地点の合計）について

・平成29年1月の新市立病院建設事業の完了により長崎みなとメディカルセンターがグランドオープンし、まちなかの誘導サインや公共トイレなどの環境整備の進捗に合わせ、まちなかの各エリアの魅力も高まっている。一方、新大工町地区市街地再開発事業においては平成30年2月に本組合が設立され事業進捗が図られており、今後も引き続き支援を行うことにより、目標は達成するものと見込む。

②小売業年間商品販売額

・平成28年度の実数値は現時点で判明していないが、平成26年商業統計調査による実数値は基準値として設定していた平成26年推計値を上回る結果となっており、また、長崎市独自の調査等により把握する中心市街地内の大型商業施設における売上額も平成26年と比して平成29年も増加している。今後も新大工町地区および浜町地区の市街地再開発事業への支援や、まちなか商店街誘客事業の取り組み等を着実に進めることで、目標は達成するものと見込む。

③主要観光施設入場者数

・平成28年10月に出島和蘭商館跡復元事業において復元建造物6棟が完成したことに続き、平成29年11月には出島表門橋架橋整備事業において表門橋が供用開始を迎えたことにより入場者数も増加傾向にある。年次計画で進められているまちなか回遊路整備事業などの効果も含めて、目標は達成するものと見込む。

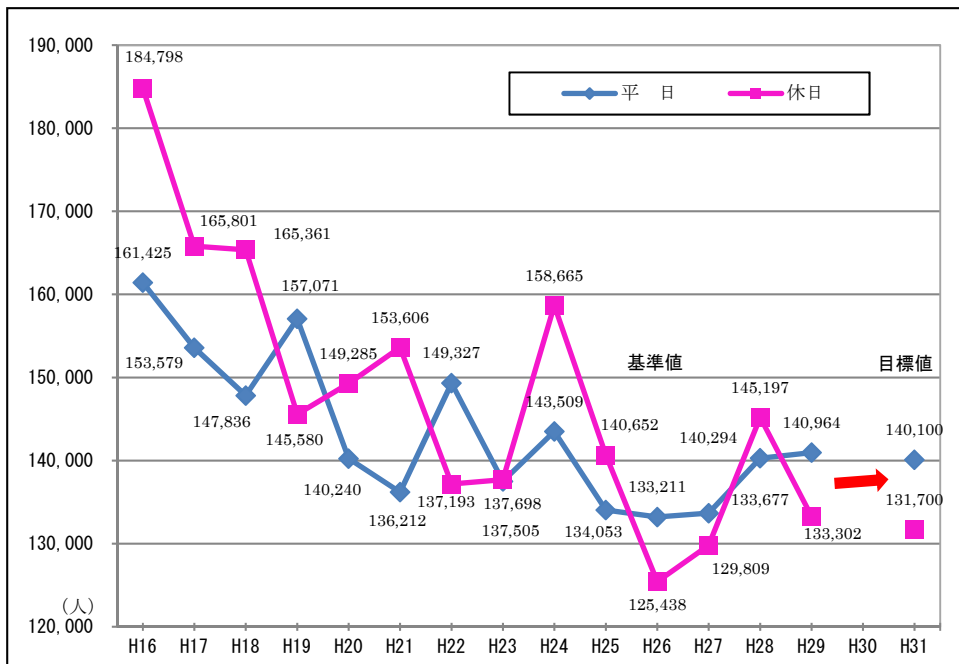
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回のフォローアップの実施から変更はない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「1日当たりの歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P56～P59 参照

●調査結果の推移



年	(単位：人)
H26	平日：133,211 休日：125,438 (基準年値)
H27	平日：133,677 休日：129,809
H28	平日：140,294 休日：145,197
H29	平日：140,964 休日：133,302
H30	
H31	平日：140,100 休日：131,700 (目標値)

※調査方法：歩行者、9月上旬の金曜日と日曜日の2日間、16地点において10時～18時で計測

※調査月：毎年7月

(平成29年度は天候不良により7月の実施が困難であったため、年間で気候や観光客の動向が類似している9月に実施)

※調査主体：長崎商工会議所

※調査対象：中心市街地16地点(浜市商店街、観光通り商店街ほか)における歩行者通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 新大工町地区市街地再開発事業(新大工町地区市街地再開発準備組合)

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の商業地である新大工町地区の中心的な商業施設を市街地再開発事業により更新することで、地域活力の維持向上と賑わい再生を図る。
事業効果及び進捗状況	平成26年1月に準備組合を設立。その後、平成27年7月に市街地再開発事業の都市計画の決定、平成28年9月の都市計画の変更を経て、平成30年2月に本組合が設立された。今後は、平成30年度に建物の実施設計及び権利変換を実施し、その後工事に着手する予定としている。 事業完成による交流人口の拡大により、平日約550人、休日約300人の歩行者通行量の増加を見込んでいる。

②. 浜町地区市街地再開発事業(民間事業者)

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	浜市商店街振興組合のエリアにおける、再開発やテナントミックスを

	踏まえたまちづくり構想に基づく、第一種市街地再開発事業による商業・住宅・駐車場の整備を行いまちなか全体への集客を促進する。
事業効果及び進捗状況	平成27年1月に準備組合を設立し、平成27年度には、推進計画の策定がなされた。平成29年度より、浜町全体のまちづくりやマネジメント方策をより具体的なものとするため、まち全体で共有していく取り組みが進められている。また、事業着手の機運が高まっている街区においては、地権者の合意形成を図るため、再開発ビルの施設構想等の勉強会が進められている。 事業完成による交流人口の拡大により、平日、休日ともに近接する6か所の調査地点において合計約6,000人の歩行者通行量の増加を見込んでいる。

③. 新市立病院建設事業（長崎市）

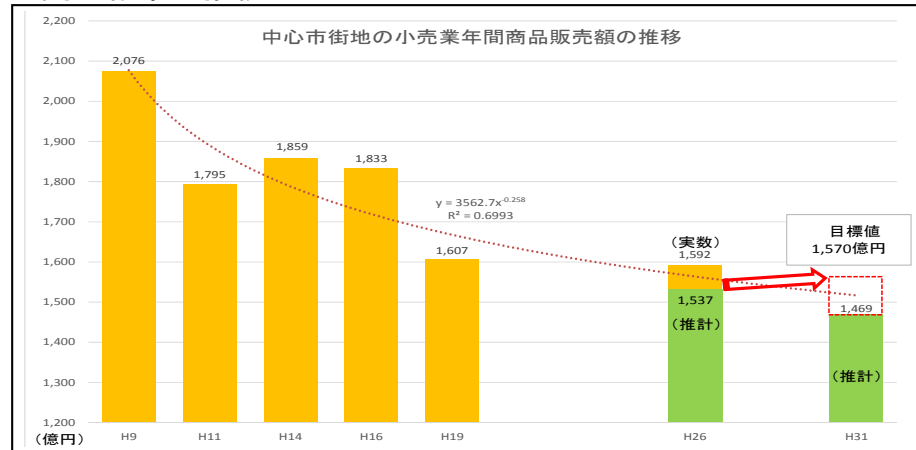
事業完了時期	平成28年度【済】
事業概要	老朽化、狭あい化した市民病院及び成人病センターを廃止・統合し、救急医療の充実、地域の医療従事者の教育支援及び地域医療連携強化を図るため、新市立病院を建設する。
事業効果及び進捗状況	平成26年2月にⅠ期棟が開院。平成28年2月にⅡ期棟が完成し、翌3月に市民病院と成人病センター両院の機能を集約しての運用開始を経て、平成29年1月に駐車場棟が完成し、グランドオープンを迎えた。 平成29年度の外来者実績は143,473人であり、平成25年度から12,211人増加しており、目標達成に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業のうち新市立病院建設事業においては、平成29年の駐車場棟完成により長崎みなとメディカルセンターがグランドオープンを迎え、開院以降年間外来実績数も年々増加している。また、まちなかのエリアの魅力の顕在化の取り組みも進捗を見せており、目標達成は可能だと思われる。今後、新大工町地区および浜町地区の市街地再開発事業についても、今後の事業進捗が図られるよう支援を行ない、それと併せてそのほかの中心市街地活性化に寄与する各種事業の進捗を図り、目標の達成にむけて最大限努力していく。

「小売業年間商品販売額」 ※目標設定の考え方基本計画 P60～P68 参照

●調査結果の推移



年	(単位：億円)
H26	1,537 (基準年値)
	1,592 (実数値)
H27	—
H28	—
H29	—
H30	—
H31	1,570 (目標値)

※調査方法：商業統計調査

※調査月：実施年

※調査主体：経済産業省

※調査対象：卸売業・小売業を営む事業所及び企業

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 交流拠点施設整備事業（長崎市）

事業完了時期	平成27～34年度【実施中】
事業概要	新長崎駅の隣接地において、学会や会議、地域住民が交流できるイベントなどを開催できる交流拠点施設を建設し、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図る。
事業効果及び進捗状況	<p>平成27年3月に交流拠点施設用地（約24,000㎡）を取得し、その活用方策について、平成28年2月に「MICE機能を中核とした複合施設」とする活用方針を公表した。</p> <p>この活用方針に基づき、平成28年度に対話型市場調査を実施し、民間事業者の提案や意見を聴取した。その結果を踏まえ、複合施設の詳細な内容について検討を進めていくため、平成29年3月から、交流拠点施設を整備・運営する事業者を公募し、同年11月に優先交渉権者を決定した。今後は、オール長崎でのMICE誘致・受入に向けた体制づくりを進めていくこととしている。</p> <p>事業完成による交流人口の拡大の効果として、約20億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。</p>

②. 新大工町地区市街地再開発事業（新大工町地区市街地再開発準備組合）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の商業地である新大工町地区の中心的な商業施設を市街地再開発事業により更新することで、地域活力の維持向上と賑わい再生を図る。

事業効果及び進捗状況	<p>平成26年1月に準備組合を設立。その後、平成27年7月に市街地再開発事業の都市計画の決定、平成28年9月の都市計画の変更を経て、平成30年2月に本組合が設立された。</p> <p>今後は、平成30年度に建物の実施設計及び権利変換を実施し、その後工事に着手する予定としている。</p> <p>事業完成による周辺への波及効果も含め、約27億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。</p>
-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

③. 浜町地区市街地再開発事業（民間事業者）

事業完了時期	平成26年度～【実施中】
事業概要	浜市商店街振興組合のエリアにおける、再開発やテナントミックスを踏まえたまちづくり構想に基づく、第一種市街地再開発事業による商業・住宅・駐車場の整備を行いまちなか全体への集客を促進する。
事業効果及び進捗状況	<p>平成27年1月に準備組合を設立し、平成27年度には、推進計画の策定がなされた。平成29年度より、浜町全体のまちづくりやマネジメント方策をより具体的なものとするため、まち全体で共有していく取り組みが進められている。また、事業着手の機運が高まっている街区においては、地権者の合意形成を図るため、再開発ビルの施設構想等の勉強会が進められている。</p> <p>事業完成による周辺への波及効果も含め、約65億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。</p>

④. まちなか商店街誘客事業（長崎市）

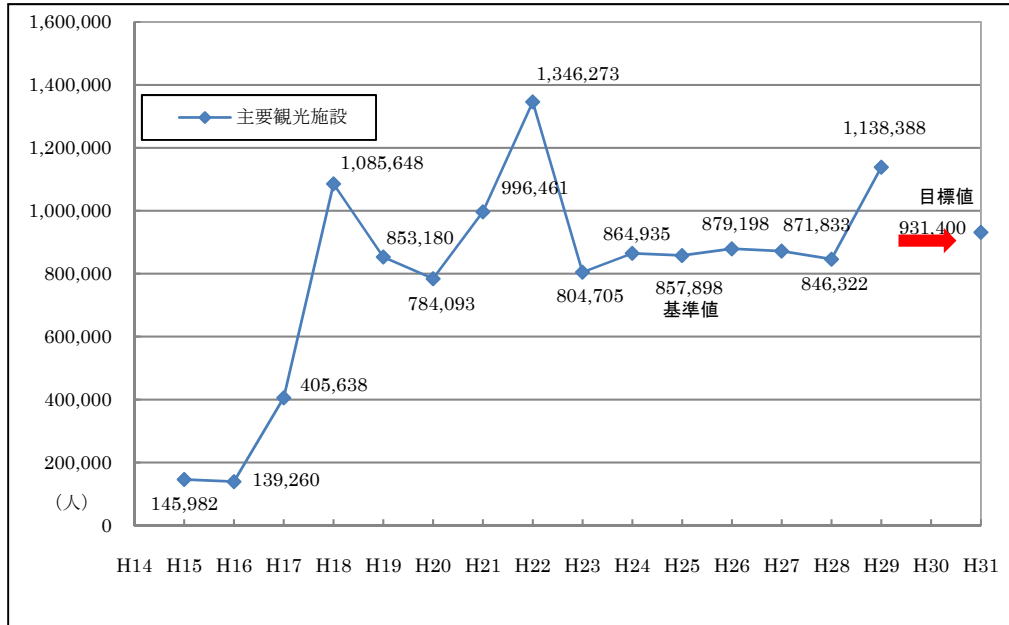
事業完了時期	平成27年度～【実施中】
事業概要	中心市街地活性化基本計画エリア内において、商店街等が行う外国人観光客等の誘客促進への取り組みを支援する。
事業効果及び進捗状況	平成27年度に実施したエリア内の小売店舗等を対象とする外国人観光客等の誘客に係る調査事業の結果を受けて、平成28年度から小規模事業者を対象とした補助事業を実施している。平成29年度は13事業者が取り組みを実施しており、計画期間中の継続した取り組みにより、外国人観光客等の滞在時間延長を図ることで約22億円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成28年度の実数値は現時点で判明していないが、平成26年商業統計調査により確認した実数値は、基準値として設定していた平成26年推計値を上回っており、また、長崎市独自の調査等により把握する中心市街地内の大型商業施設における売上額も平成26年と比して平成29年も増加していることから、目標達成は可能であると思われる。交流拠点施設整備事業については、当初の計画より進捗に遅れが生じ、計画期間内に想定の効果が発現しない見込みであるが、今後も、民間主導の主要事業である新大工町地区および浜町地区の市街地再開発事業を支援し、まちなか商店街誘客事業によるクルーズ船乗客を含めた観光客等の消費拡大に向けた取り組み等を着実に実施することにより、確実に目標が達成できるよう取り組みを進める。

「主要観光施設入場者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P69～P72 参照

●調査結果の推移



※調査方法：市内の主要観光施設において毎月計測

※調査月：毎月

※調査主体：長崎県・長崎市

※調査対象：主要観光施設の利用者数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 出島和蘭商館跡復元事業（長崎市）

事業完了時期	平成8～31年度【実施中】
事業概要	19世紀初頭の出島の復元を目指し、第Ⅰ期から第Ⅳ期に分けて復元事業に取り組んでいる。平成28年の第Ⅲ期事業の復元建造物6棟の完成により、当時の様子がさらによみがえり、これまで以上に観光客の増加と賑わいの創出が図られる。
事業効果及び進捗状況	平成26年8月に組頭部屋及び銅蔵をはじめとする第Ⅲ期復元建造物6棟の建築工事に着手し、平成28年10月に完成し供用を開始した。(今後は第Ⅳ期事業に着手する予定であり、現在準備を進める。) 平成29年度の施設入場者数は平成18年の開園以来はじめて50万人を突破したところであり、今後各種イベント等との効果と合わせて13,150人の施設入場者数の増加を見込んでいる。

②. 出島表門橋架橋整備事業（長崎市）

事業完了時期	平成25～29年度【済】
事業概要	鎖国時代における唯一のヨーロッパとの窓口であった出島と対岸の江戸町を結ぶ架け橋として象徴的な建造物である出島表門橋の整備を行う。
事業効果及び進捗状況	出島表門橋と中島川公園（出島対岸部分）の設計業務が平成27年11月に終了し、平成28年1月から出島表門橋の本体工事に着手し、

	<p>平成29年11月に完成し、供用を開始した。</p> <p>供用開始後4か月間の月平均入場者数は42,469人と前年度の34,592人と比較して7,000人を超える増加となっており、今後も引き続きPR等を積極的に行い、事業完了後は53,000人の施設入場者数の増加を見込んでいる。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

③. まちなか回遊路整備事業（長崎市）

事業完了時期	平成25～34年度【実施中】
事業概要	歴史・文化・観光・商業など長崎固有の多様な魅力が詰まったまちなかを歩いて楽しいまちにするため、歩きやすさを確保しながら、まちの特徴に合わせた景観等に配慮した回遊路を整備する。
事業効果及び進捗状況	<p>平成29年度は、中島川・寺町エリアや銅座エリア、出島周辺等において計4路線の回遊路整備を実施し、回遊性を向上させる快適で安全な歩行空間が形成された。</p> <p>今後も年次計画により事業の進捗を図ることとしており、出島和蘭商館跡復元事業や出島表門橋架橋整備事業、誘導サイン整備事業などの各種事業との相乗的効果により、計画最終年度には、7,350人の施設入場者数の増加を見込んでいる。</p>

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業である出島和蘭商館跡復元事業や出島表門橋架橋整備事業、また同時に整備を進めていた中島川公園整備事業や誘導サイン整備事業がおおむね完了し、主要観光施設の入込数も順調に推移していることから、目標達成は可能だと思われる。今後も引き続きまちなか回遊路整備事業等の事業進捗を図り、また様々な団体との連携を図りながら地域の魅力向上の取り組みを実施することにより、確実に目標が達成できるよう取り組みを進める。